

石井桑水氏が チャリテイショウ

横須賀邦楽友会のメンバー等曲の古郡雅楽奏さんと、琵琶の石井桑水氏が主催となり国際障害者年に際し、十一月二十八日午後一時より横須賀市文化会館大ホールに於てチャリテイショウを催した。この公演には横須賀市教育委員会、横須賀商工会議所、横須賀文化協会、横須賀ロータリークラブ等が後援で、舞踊、箏曲、琵琶、落語等十二番が上演され、琵琶に石井桑水、末吉希水両人が出演、東京の都錦穂さんも絃で出演された。向会場の一角には石井桑水氏所蔵の甲冑、其の他の品を展示して来場者の鑑賞に供した。目録次の通り。(1)皆川山城守広照着用甲冑一具、(2)佐久間象山画、勝海舟讃一幅、(3)岡芳年版画三枚、(4)熊沢天皇式紙、葉、その他数品。

樹本旭風会長 の健康回復朗報

日本旭会本部の元理事長で東大飯旭会長として名声轟く樹本旭風師は、去る十月下旬東京で開催された第五十一回全国大会へ出席のため高千穂旭風女史と自動車で十月二十一日早朝大阪出発上京され

たが、当日関東地方は台風二十四号の襲来で強い暴風雨となり進行不可能で難波され、翌日茨城県の所用を済ませ指定宿舎弥生会館へ漸く着く有様であった。二十六日慰労懇親会後四時頃出発して帰阪の途中に発病し、疾労のため高熱で苦しむ高千穂女史の看護で夜十二時近くに帰宅、女史の手厚い不眠の看護で夜半の三時過ぎに至り発言され落ち着いたとの朗報で以降静養中である。

松岡旭岡師一周忌 法要琵琶演奏会

琵琶旭岡王国を築いた名人松岡旭岡元老が、五十五年暮逝去されて一年。その一周忌法要演奏大会が十一月二十八日十一時より姫路市花の北市民広場で同市の西川旭操会が主催で開催された。定時に二寺院住職の読経法会ありて琵琶演奏され故師作曲と舞踊共で二十数曲が上演されて感嘆され盛況であった。出演各手も旭操会員の外関西と九州地区より名流参加された。

斎藤桜嵐氏消息

昭和十六年の大東亜戦争開始前の十余年間の朝鮮の首都京城の琵琶界は、筑前、錦心両派の隆盛期で、肩で風切る勢いであった。當時天才児と呼ばれた柴田桜尊青年が、恩師松井清水より奨められて錦琵琶の水藤錦羅の門に入り桜尊の号を受けた。その柴田師に就て研習されたのが斎藤氏で、終戦後母国へ引揚げ現在千葉市居住され桜嵐の芸名で活躍されているとは懐しい。

押川旭葉師来訪

去る九月に専売公社を辞任された箱根強羅の公社紅葉閣管理人押川小夜子(旭葉)女史は、十一月二十九日兼任挨拶のため本社鈴木社長宅を来訪され、快談一時間に及び交歓して辞去された。

三鷹邦楽連盟会

東京都三鷹市芸術文化協会と三鷹市並に三鷹市教育委員会合同主催、同邦楽連盟司会で十一月十五日正午より同市社会教育会館に於て公演を催し、琴と長唄、尺八合同の六段の調べを序曲に、小唄、長唄、箏曲、尺八、琵琶等十八番を上演し午後四時過ぎ終わった。

薩摩琵琶同好会

鹿児島島の薩摩琵琶同好会では、

正統会師走公演

東京の薩摩琵琶集団正統会の五十六年度十二月演奏会は、二十日午後一時より港区愛宕山菜根で開き、開会の辞に続いて吉田中央舟、津和田岳聖、遠藤鶴東、軽部岳瑞、清川嵐舟、須田誠舟、仲川秀邦、柏木算道、正本深舟、本橋油舟、佐藤湘春の各独奏、最後に有志による門琵琶の合奏あつて終わった。

筑前琵琶製作 三田村 琵琶糸

東京都渋谷区神山町八番地三番 NHK放送センター西口前
三田村楽器店
電話 渋谷 六八二二番

琵琶 塗り塗るし
鶴山 三宅

922 石川県山中町上原口甲95
-01 電話 07617 (8) 2239番

最古の傳統と最高の技術
専門製作 薩摩琵琶
附属品一式
創業明治十一年
石田琵琶店
東京都港区虎ノ門三ノ八
電話 〇三六八 四五八番
(地下鉄虎ノ門バス停前)

調愛吟集 各定価 1,500円
薩四 送料 200円



琵琶特集
一月号

昭和五十七年一月一日発行

新年の辞

昭和辛酉の年の瀬を送り、茲に五十七壬戌の新年を迎えて新羅万象改まる感を覚ゆ。謹んで清浄し神棚に奉祀の天照大神を始め諸神を拜して国家の安泰と平和を祈願し、無病息災と繁栄を願ひ、芸の友愛者各位の御健康と御多幸を祈念申し上げる。更に祖先よりの靈位に合掌して同様の祈りと感謝を捧げ、家族の年頭挨拶を交すのが慣例となっている。

今年壬戌の年で俗にいぬ年と言うが、犬と云う動物は従順でよく人に馴つき愛嬌があり護衛の用を始め盲導用、狩猟用と多く役を務め真に重宝な生物である。多くの人々の支援やヒイキに依つて舞台を動む方々は、人との和を大切に、礼儀を正し、節義を重んじ博愛互譲の真心を以つて社会に邁進されるなら必ず幸運に恵まれて健康の多幸を得るものと信ずる。

新春舞台開き 名流琵琶演奏会

1月23日正午
銀座ガスホール

日本琵琶楽協会主催の新年恒例行事である舞台開き名流琵琶演奏会は、一月二十三日正午より東京銀座七丁目のガスホールで催される。今回は東京並に近県を中心とした出演者の外、地方の浜松の小野鶴彦、彦根の林田旭城、広島から板谷旭邑の三名流が参加出演されるので一段と人気を呼び当日の盛況が予想される。出演番組次の通り。

八甲田山 斎藤幹郎 ▲粟津ケ原 斎藤旭孝 ▲熊野 高田栄水 ▲桶狭間 中村鶴翔 ▲扇の的 都穂風 ▲西郷隆盛 内田旭章 ▲鉢の木 遠藤鶴東 ▲羅生門 若宮旭登 ▲本能寺 藤内鶴孔 ▲大桶公 若林旭

吟詠秋のうたに 笹川鎮江師出演

日本吟詠詩舞振興会提供による



(笹川鎮江師)

初めに笹川良一会長とアナウンサーの対談あり、笹川鎮江師の「千鳥鳴く」に始まり、「山行」外数番あつて最後に再度笹川鎮江師の「山中の月」が放送された。なお琵琶関係で、峯風麗、広瀬圭穂両師も台吟に出演され何れも好評を受けた。

新年 賀 謹

鶴田錦史
〒106 東京都港区麻布狸穴四五
電話 〇三(55)八二〇六番

笹川鎮江
(旭風)
〒112 東京都文京区千石二丁目三ノ二三
電話 〇三(54)〇七三二番

日米加吟詠連盟
日本国風流詩吟

宗家 雨宮国風

〒231 横浜市中区弥生町三ノ三〇
電話 〇四(5) 〇三三三・三三九九番

新年 賀 謹

大和流琵琶吟宗家
山崎光掾
筑前琵琶橋会宗範
山崎旭萃
〒569 大阪府高槻市宮田町一ノ六ノ五
電話(〇三六)三一五九番

筑前琵琶
日本橘会
家元 橘 旭 宗
〒152 東京都目黒区目黒一ノ三ノ三二
〒152 東京都目黒区目黒九〇三二
〒444 岡崎市城北町一七ノ一
電話(五六)四四七五番

筑前琵琶嶺派
嶺 旭 蝶
青山旭子
〒810 福岡市中央区春吉二ノ八ノ二
電話(〇九二)〇三二〇番

詩吟朗詠錦城流
宗家 山元錦城
〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(〇三三)六二二二番

筑前琵琶橋会
大坪旭邦
ロシアンゼルス
電話(二五)四六四五番

日本橘会大師範
大和流琵琶吟宗範
板谷旭邑
〒730 広島市橋本町一〇ノ一五
電話(〇三三)七五二二番

筑前琵琶橋会大師範
詩吟朗詠錦城流宗範
夏秋旭芳
夏秋錦穂
〒857 佐世保市谷郷町四ノ一
電話(〇五五)二二三四番

筑前琵琶橋会師範
久保旭栄
〒885 都城市鷹尾三ノ三八ノ二二

筑前琵琶
東京橘会
事務所
〒166 東京都杉並区成田西一ノ六ノ三
電話(〇三三)六二二二番

新年 賀 謹

筑前琵琶宗家
橘 旭 翁
〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話(〇三三)一三八七番

筑前琵琶日本旭会
範司 押田旭窈
〒160 東京都新宿区三栄町一六
電話(〇三三)四五九一・〇三三八三〇番

日本旭会総師範
河野旭保
〒802 北九州市小倉北区馬借一ノ一四ノ五
電話(〇九三)八三四〇番

筑前琵琶
日本旭会長
斎藤旭章
〒102 東京都千代田区三番町三ノ二
電話(〇三三)三二六六番

日本旭会総師範
柴田旭堂
日本旭会
上原まり
〒651 神戸市中央区上筒井通五ノ四ノ二
電話(〇六)一一六一番

日本旭会総師範
榑本旭風
高千穂旭楓
〒544 大阪市生野区小路二ノ二六ノ三
電話(〇六)〇三二五番

筑前琵琶日本旭会
福岡 旭会
中村旭園
〒810 福岡市中央区今川二ノ七ノ六二
電話(〇九二)〇一七・〇三七八番

筑前琵琶日本旭会師範
旭山会 会長 木庭旭山
〒557 大阪市西成区松二丁目一ノ六
電話(〇六)〇〇〇四番

尾山旭瑞常
同 筑前琵琶日本旭会 大阪旭会
〒558 大阪市住吉区帝塚山東四ノ七ノ二二
電話(〇六)〇八四八番

琵琶六十五年、放送回数八十六回のものなつかしい
想出と共に新年を迎えました。
益々の発展を念じます。
筑前琵琶日本旭会
大阪旭会

錦心流琵琶一水会本部
会長 中谷 襄水
232 横浜市南区井土ヶ谷中町六二
電話(045)六六七七七番

筑前琵琶橋会
大師範 堀田 旭甲
(天風翁甲堂)
天風甲心流詩吟道甲心会本部
444 岡崎市城北町一七〇一
電話(052)四四五七番

都派琵琶本部
家元 都 錦穂
錦穂会会員一同
113 東京都文京区根津二ノ一五ノ二
電話(03)五七〇八番

四絃琵琶齊曲会
望月 啞江
272 市川市東菅野四ノ八ノ二一
電話(045)三六三六(39)一六九六

錦 琵琶
木原 綾子
門下一同
274 船橋市高根台四ノ一五ノ四
電話(0476)七九四〇番
東京稽古場 160 新宿区大久保三ノ二ノ三
電話(03)七七六四番

筑前琵琶橋会
大師範 角田 旭岑
152 東京都目黒区目黒本町一ノ六ノ三
電話(03)二三三四番

筑前琵琶日本橋会
中部橋会 会長
大師範 西村 旭一声
485 小牧市北外山字竹林四二九六ノ四
電話(056)九六四五番

錦心流 秋声会名古屋本部
会長 阿部 秋子
454 名古屋市中川区中島新町中川住宅
五ノ〇一 電話(052)二八四番

日本琵琶楽協会
会長 吉川 英史
副会長 金田 春彦
副会長 藤巻 旭彦
副会長 遠藤 鶴東
理事長 藤巻 鶴東
事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
電話(03)三七八九・九三八九番

薩摩 正絃会
会長 西郷 吉之助
副会長 榊山 資清
事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
電話(03)三七八九・九三八九番

薩摩 古曲研究会
会長 須田 誠舟
事務所 105 東京都港区西新橋一ノ十一ノ七
電話(03)三七八九・九三八九番

筑前琵琶
紅 会
160 東京都新宿区三栄町十六(押田方)
電話(045)五九一・三三八三〇番

模範芸術家

九州琵琶の女王
弾き技現代無比

名人 河野旭保師



(河野旭保師)

筑前琵琶日本旭会の大行事である昭和五十六年度全国大会大演奏会が、去る十月二十四、五の両日、東京で開催され両日共満員の盛況で好果を収めたのは異例である。

琵琶界の全国大会は、筑前派の旭会と橋会の二団体と錦心流一水会の一団体あるのみで毎年一回華々しく催し、全国各地より選良代表が参加して研技を競え、一面親睦増進の社交場として重視される。

然し芸能人の本意は全国優技者参集の席場に於て研技の研えを競って名人の賞讃を博することと推測される。

五十六年度旭会全国大会には、全国三十地区旭会より代表八十餘

名が参加し、東京選出の百餘名と維技妙節を競って愛好者の拍手を浴び、数十曲上演芸の内の一部は、大衆より秀逸として賞讃された。公開場の演技は、華やかに唄い派手に弾き捲くれば大衆より受けるが、作詩家の本意は歌詞を理解し写實的に表現される事を望むのである。此の点歌詞の意を体して名人芸を發揮された巨匠が全大二日間の出演大家中に一人居られたのは慶ばしい。

その名人は九州琵琶界の女王と敬われ淑徳の誉れ高い小倉の河野旭保女史で、大会二日目二部の「坂崎出羽守」の曲での絃を務められた方である。弾く撥きさばきの鮮かさ強弱自在の運び、押カンの微妙さと音色の研え、間拍子の巧緻と一点非の打ち所のない極芸で、真に名人の魅力芸としての賞讃が光り感銘させられた。(著士記)

空城流秋田県

全県大会盛大に

徳望高い人格者の芸神と仰がれる名人社団法人空城流吟詠舞宗家村上空城師は、十一月一日の県産業会館にて開催の空城流全県終大会で五十六年度の行事を全部終



(村上空城師)

了したとの通報を受けたが、村上宗家御夫妻は、四月中旬箱根強羅の紅葉園に於ける歓迎会に臨席されて、五十五年九月の空城流十五周年記念大会大会に招待せし東京の芸の友社長鈴木蒼士翁並に千葉氏夫妻、箱根の押川旭葉、大阪の山崎旭幸、横浜の中谷襄水、渡辺声水諸氏よりの招待歓迎にて来賓されたので箱根観光された。また五十六年九月は秩父の空城流会員より夏期講習会に招かれ、山梨県川口湖畔の民宿会場で自習を督励

一泊して翌日富士山五合目まで登山し即日埼玉秩父市まで帰りホテルへ。翌日東京より初来訪の鈴木老社長父娘を迎えて県立美の山公園、名所長瀬、宝登山神社、釜山神社、秩父観音札所四番霊場を参拝してホテルへ一泊。同夜鈴木翁歓迎会を村上宗家一行と秩父会員一同で催して鈴木社長より感激の謝辞を受け、翌日一同揃って秩父神社を参拝して西武秩父駅でお別れし秋田へ帰省。

而して村上宗家は県大会の準備

に着手し、十一月一日の開催となり大人数満員の成果を挙げられた。この大会は、空城流宗家村上空城師、大会々長佐藤鳳城、副会長野村白城、同中村芳城、実行委員長中川宇城、実行副委員長長田雨城、同渡部馨城、同小野沼城諸首脳始め実行委員役員六十余名である。出場会員約二百名近く、その力演の妙技巧節は大衆を酔わして好評を受け場内の雰囲気上下であった。

仲谷襄水会長の威力と徳望光る 錦心祭全国大会

各地代表の力 演技巧が好評

錦心流琵琶の開祖永田錦心師逝いて六十年近いが、一水会本部では毎年秋に錦心祭全国大会を主催し、全国四十余支部より代表が出席、演奏大会を開いて流祖の遺徳を偲ぶのである。

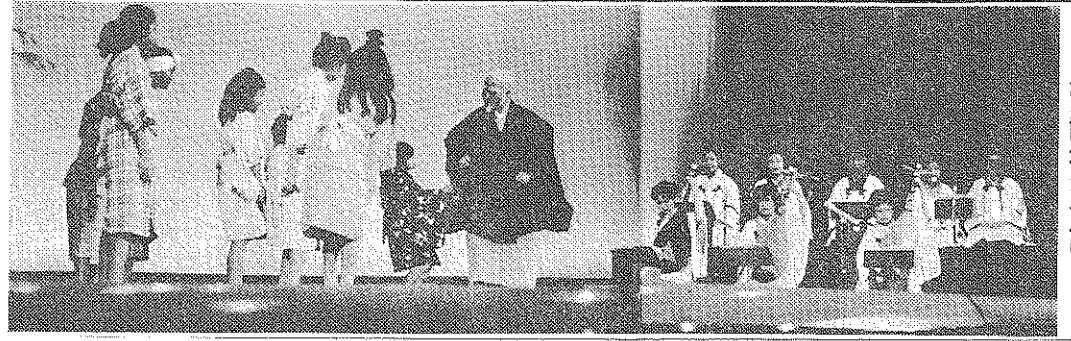
謹賀新年

御厚情を深謝 御多幸を祈念 昭和五十七年元旦

芸の友社 鈴木蒼士

当日は寒気の急来で肌寒かったが快晴に恵まれ、同好の入場も好調で中谷襄水会長の徳望と人氣の程が推察された。会場ホール前面には全国各支部約四十の支部旗を飾りて景氣を添え、舞台は金屏風を背景に、紫地色の本部旗を配す。故錦心師胸像は客席入り口左右の中央に安置された。

琵琶まつりの
良寛詩境舞台面



木原師の厚情

名人の至芸に

酔うた琵琶祭

豪華版みこと

現代の琵琶界各流には全国を通じて名人巨匠と称えられる達人が十数名居られるが、錦派では故水藤錦種直伝の木原綾子女師只一人である。木原師の芸風は自由自在の変化に富んだ魅力ある美声で、天性の芸才で歌詞を生かす間取り微妙な節調が抜群の秀技でファンを陶醉さす力がある。

その木原女史が主催の琵琶まつり邦楽演奏大会が既報の如く十一月二十三日の勤労感謝日の午前十一時より東京日本橋茅場町の東京証券会館ホールで盛大に催された。二日程前からの天気予報では暴風雨の荒模様と当日の朝報でもあったが、幸に曇天だけの雨なしで済み数百人収容の会場は満員の盛況であり、受付前を飾った数個の祝贈生花が大人気を添えた。

き、そのあと吟詠部会員の合吟、連吟、独吟、吟舞、劇と熱心な競吟や賑やかな舞台を展開して参観者を楽しませ拍手湧く。十数番吟歌がつづいた後再び琵琶演奏に移り、清川嵐舟、山下旭瑞、養助若手の単奏、木原師の「扇の的」の巧演あって田中光水氏と代る。茲で御挨拶となり、日本琵琶楽協会副会長藤巻旭鴻氏と木原会主並に幹部会員数名登壇、藤巻氏のお祝いの言葉、木原師学生時の恩師関口女史の木原学生追憶談、木原会主の御礼の辞あって幕。更に「良寛詩境」の劇面あって大衆を楽しました。

このあとに薩摩派の遠藤鶴東、筑前派の藤巻旭鴻両巨匠と、最後に会主錦宗家水藤五郎外二名の出演曲があるが、老体疾勞のため失礼ながら退場し帰宅した。なお書き漏したが会主木原師の盛綱先陣曲終了際に数名の人から木原師へ花束贈呈があつて一層の人氣を添えたのは人徳だと察する。(誉士記) この日名古屋よりの来聴者もあり師の人望を示した。

晴風会秋会盛況
名人故浅野晴風師の遺業を継ぐ山下晴風会長の薩摩琵琶晴風会の秋の演奏大会は、十一月二十一日中野文化センターで開かれ、好天に恵まれ愛好者の出足もよく仲々の盛況であつた。出演者は山下晴風会長以下会員と、特別に望月江、杉山雅俊、来賓に中谷襄水押川旭葉、水藤五郎、山崎典水の諸氏で声援多かった。



(中村旭園師)

中村旭園師 印度遺跡巡訪に

先頃師籍五十年の記念大会を催した福岡の中村旭園師は、毎年琵琶を携えて海外に旅行されるが、

新年 謹賀

空城流吟舞詩吟斗南会

宗家 村上空城

〒010 秋田市金照寺山公園七ツ森
空城流吟舞詩吟斗南会館
電話(〇八八)三二九〇・七九七二番

吟詠菊水流宗家

菅根悠光

吟舞菊水流宗家

永田咏滉

〒125 東京都葛飾区青戸六ノ三七ノ二
電話(〇三〇)三〇七五番

横浜旭会 会長

小原旭成

〒241 横浜市旭区本宿町一〇六
電話(〇五〇)一八九三番

横浜旭会幹事長

板倉旭富

〒231 横浜市中区本牧大里町一一四
電話(〇五五)〇四七二・〇四七五番

錦心流琵琶三浦蓮水後援会

会長 加藤弥三二

事務所 西宮市松原町九ノ八
電話(西宮)三三二二番

蓮水会 会長 三浦蓮水

〒662 西宮市羽衣町七ノ二九
電話(〇六)五八八七番

会 員 一 同

錦心流輝流 輝水会本部

会 主 輝 錦 凌

〒113 東京都文京区本郷五丁目二ノ三
電話(〇三)七五七四番

横須賀琵琶連盟

会長 山田幻水

〒237 横須賀市船越町一ノ五〇
電話(〇四六)三六七六番

吟詠 赤心流

家元 赤心流鶴翁

〒420 静岡市西草深町二ノ二〇
電話(〇五三)一四七一番

明治神宮に奏上三桃山琵琶製作
昭和十一年設立皇影捧誠会々主
日本琵琶楽協会々員

頭山満翁 異色門下 柏木篁道

〒125 東京都葛飾区鎌倉四ノ三九ノ四
電話(〇六三)一九四七番

(勇吉)

新年 賀 謹

琵琶洲楓会本部

事務所 156 東京都世田谷区八幡山

電話(三三三)三五五〇番

会長 大館美江子

理事長 桑名洲聖

副理事長 荒川洲帆

理事 平井洲誠

同 松崎洲陵

同 稻垣洲玲

同 山田洲鳳

同 彼ノ矢洲友

同 中村洲心

同 真泉洲佳

錦心流琵琶

高田栄水

176 東京都練馬区豊玉北四ノ二四

錦心流琵琶

秋山溪水

153 東京都目黒区上目黒三ノ四ノ五

錦心流琵琶一水会鎌倉支部長

宗家 斎藤祥風

247 鎌倉市大船一ノ二四ノ一四

錦賜会 秋山錦賜

251 藤沢市鶴沼校ガ同二ノ一ノ四

薩摩琵琶雲雀会

遠藤鶴東

260 千葉市登戸四ノ九ノ二

友吉鶴心

111 東京都台東区雷門二ノ五ノ一

石坂鶴朋

334 川口市安行原二五三六ノ三

内山鶴崇

062 札幌市豊平区中の島条守目

立川鶴祥

371 前橋市文京町三ノ六ノ一

半田鶴朱

354 埼玉県富士見市市浜三ノ八ノ七

田中鶴旺

175 東京都板橋区成増五ノ二ノ四

馬場鶴洲

144 東京都大田区下丸子二ノ一ノ七

三宅鶴山

922-01 石川県山中町上原口甲九五

藤内鶴孔

176 東京都練馬区高松一ノ三ノ三

今井鶴朝

157 東京都世田谷区千歳台五ノ八

筑前 旭鴻会本部

会長 藤巻旭鴻

171 東京都豊島区高松三ノ一二

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

桑川旭 古川旭 古川旭 柴野旭 東野旭 吉島旭 清田旭 大西旭 初谷旭 井上旭 大井旭 丸山旭 横山旭 平野旭 神原旭 山根旭

会長 青柳重道

173 東京都板橋区大山西町二四ノ一

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

藤巻旭

桑川旭 古川旭 古川旭 柴野旭 東野旭 吉島旭 清田旭 大西旭 初谷旭 井上旭 大井旭 丸山旭 横山旭 平野旭 神原旭 山根旭

新年賀謹

<p>琵琶講談・詩吟物語</p> <p>大野 皎月</p> <p>618 京都府乙訓郡大山崎町高橋三ノノ 電話(五三)一〇六七番</p> <p>筑前琵琶日本旭会</p>	<p>田中 旭昇</p> <p>653 神戸市長田区梅ヶ香一ノ一五 電話(五八)〇〇二八番</p> <p>筑前琵琶日本旭会</p>	<p>浜本 旭好</p> <p>678 相生市相生二ノ一四ノ一七 電話(七三)五二一八番</p> <p>東京旭会・旭粧会々々長</p> <p>大師範 原島 旭粧</p> <p>160 東京都新宿区西新宿六ノ七ノ七 電話(〇三)五五六四番</p> <p>筑前琵琶日本橋会 大師範 彦根 旭城会</p> <p>会長 林田 旭城</p> <p>522 彦根市中央六ノ一三 電話(七三)〇三二六番</p>	<p>琵琶・詩吟</p> <p>広瀬 圭穂</p> <p>187 東京都小平市仲町一九〇 電話(三三)二四三六番</p> <p>筑前琵琶日本旭会</p> <p>大師範 富樫 旭桂</p> <p>673 明石市松が丘四丁目二ノ四ノ 電話(三三)八六三三番</p> <p>筑前琵琶日本旭会 詩絃道煌風会</p> <p>横野 旭鳳</p> <p>553 大阪府福島区海老江四ノ一ノ二 徳岡氣付電話(六四)二九七三番</p> <p>筑前琵琶旭会 教授 扶桑流詩吟</p> <p>旭登会 若宮 旭登</p> <p>189 東村山市美住町一ノ四 久米川公同九ノ二ノ四 電話(三三)九三二四番</p> <p>筑前琵琶橋会</p> <p>押川 旭葉</p> <p>211 川崎市中原区丸子通一ノ六ノ二 シヤルム新九子六〇三三号</p>	<p>筑前琵琶日本旭会</p> <p>安倍 旭静</p> <p>146 東京都大田区下丸子二ノ一ノ六 電話(三三)三八一八番</p> <p>筑前琵琶旭会師範</p> <p>大津 旭紅</p> <p>189 東村山市美住町二ノ一ノ六 電話(三三)八八四六番</p> <p>桜井旭会々々長</p> <p>秋元 旭晨</p> <p>618 大阪府三島郡島本町桜井四ノ六 電話(三三)五〇四三番</p> <p>筑前琵琶橋会師範 詩吟朗詠錦城流大師範</p> <p>佐伯 旭瑛</p> <p>577 東大阪市俊徳町一ノ二ノ八 電話(〇六)一四八二番</p> <p>詩吟朗詠錦城流大師範 筑前琵琶橋流師範</p> <p>三栖 旭鋒</p> <p>243 厚木市栄町一ノ五ノ二〇 電話(三三)二七二四番</p>	<p>吟詠教授 晴声吟詠会</p> <p>会長 中村 晴声</p> <p>432 浜松市鹿谷町三七ノ一〇 電話(五三)七六六〇番</p> <p>筑前琵琶</p> <p>東都 旭会</p> <p>事務所 171 東京都豊島区高松三ノ三 電話(三三)三六四五番</p> <p>筑前琵琶橋会師範 鳥取旭良会</p> <p>北村 旭良</p> <p>680 鳥取市片原四丁目二〇二 電話(八七)八七二四番</p> <p>橋流筑前琵琶宗家師範 琵琶・詩吟教授</p> <p>松村 旭奎</p> <p>157 東京都世田谷区粕谷町三ノ三 電話(三三)四八三三番</p> <p>筑前琵琶橋会師範 旭典会</p> <p>小川 旭典</p> <p>490-01 一宮市浅井町大日比野三三〇九 電話(五八)二八八〇番</p>
---	--	---	--	---	---

洲楓会の琵琶

演奏会を聴く

一世の琵琶歌大館洲楓宗家の遺業洲楓会本部主催の恒例秋の演奏会が、十一月十三日夜日本橋通りの第一証券ホールで開かれた。この日快晴の小春日和であったが金曜日という関係か入場者の出足は薄く五時半開演なのに六時に至っても会場の半分を埋める入場者で洲楓会としては珍事である。開演は松崎竹峰の吟詠(笛を吹く)を序番に、平井洲誠(自然と人生)まで十数題が上演され、何れも熱吟で好調であり拍手湧く。続いて琵琶の先陣は富田洲寿(重衡)で、真泉洲佳絃で開幕、初舞台としては落着いて無難。次は岡田洲峰(城山)錆びた太い声色の男性で独奏で良かったが押ししの不足はあった。次は彼ノ矢洲友(湖水乗切)は仲々軽妙の要点もあり研修の功は見られるが押しが足らぬ。山田洲鳳(横笛)は壮重な演技で歌も弾手も巧みである。関口を蒸って来た女性としては優しさが薄い感が伺えた。松崎洲陵(常陸丸)終始一貫した熱演で自身の性格そのままの真面目であった。この曲よりも「日向の景清」の物語りが期

待される。荒川洲博(羅生門)は実に変化に富んだ自在の好調熱奏で興味充分。年若い熱練者だけに将来が楽しみ。桑名洲聖(捨兒)は、琵琶両道の達人たる桑名師の本顔を發揮した貫録芸で感心させられた。稲垣洲玲(川中島)は、女性に稀れな大声で熱奏と甲上げるのみ。荒川洲帆(茨木)、天下一品と定評ある大阪の山崎旭琴師の演奏を何回も耳にせる私には何となく物足りぬ感じであった。

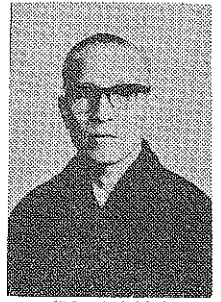
松野紫雲師追悼 琵琶舞大会盛況

三浦師大人気

錦心流琵琶界関西の女王西宮市夙川の三浦蓮水師は、早春二月に作詞家で高名な松野紫雲こと夫の三浦忠氏が風邪で急逝され悲しみの裡にも松野師追悼を兼ね恒例の西宮市文化祭参加の蓮水会主催で琵琶と詩吟詩舞の会第二十回を十一月二十五日午前十一時より夙川公民館松下ホールで催された。当日は幸に快晴に恵まれファンの出足も早く満員の盛況で声援の拍手も頗る多かつた。上演技は蓮水門下の琵琶七曲、青柳流詩舞、一水会



神戸支部員の琵琶六曲。詩舞と招待吟八題あった。それに続いて故松野師の写真を舞台上に飾り供花を添えて追悼となり、楊淑水氏が追悼の辞を捧ぐ。更に松野氏作詞



(堀田旭甲師)

中山鳳水、平井春嶺三師の演奏、つづいて詩舞詩吟があり、山崎旭琴師代理林田旭城女史の「敵島の戦」の演奏で満堂を酔わした。最後は会主三浦蓮水女師の「楊貴妃」で全場の大拍手を湧かし終了した。記念写真のあと別室で慰労の祝宴あり懇親して八時散会した。写真は松野師追悼の場面である。

堀田旭甲師の誉

筑前琵琶日本橋会事務局局長で大師範の栄位に居る愛知県岡崎市居住の堀田旭甲名人は、温厚篤実の至誠な人格者で、書家と作詩家でも知られ、二十数年前より詩吟道を創立して岡崎一の名匠と評され幾百千の門下を指導養成し、愛知県吟詠連盟の主幹役員に推挙され人気倍加し多忙の毎日である。その上に財団法人日本吟詠詩舞振興会の笹川良一会長より愛知県支部役員を委嘱されて一層信用度を高め多忙とは慶ばしい。

三越邦楽会へ

広瀬師出演好評

東京日本橋三越本店の劇場で十一月四日催された三越邦楽会へ、みのある書道会々々長広瀬泰子女史が琵琶奏で出演(湖水乗切)を弾奏し好評を受けられた。同会には読売新聞社会長務台光雄氏外社会的有名人の出演で、箏曲、吟詠、小唄、義太夫、長唄、常磐津、歌沢等十五番が披露された。

都錦穂家元が

「敦盛」放送好評

十一月二十六日午後三時十分NHK FMより錦穂派家元都錦穂師が「敦盛」を放送、組打より熊谷の蓮生坊となって後生群い迄三十分の放送を熱演で頗る好評を受けた。

奥田医院の新築

東京都文京区湯島三丁目の医学博士奥田興先生は、内科の名医として高名で患者多く徳望高いが、去る九月より医院新築に着手し目下進行中で、四月末に完成の予定と。先生は茨城県出身の人格者で刀剣の愛好家で琵琶の名手でもありの妙手でもある。

錦心流琵琶一水会札幌支部
岳水会
二反田 岳水
065 札幌市東区東苗穂町五ノ六
電話(011)三一三八番
電話(011)〇五七八番

一水会本部顧問
佐藤 采水
133 東京都江戸川区東小岩五ノ
元ノ九 電話(047)四七九八番

謹賀新年

小池 幸水
143 東京都大田区中央二ノ七ノ六
電話(047)八七一四番

佐藤 晃絃
790 松山市立花三ノ五ノ六
電話(077)三八八七番

仲川 秀邦
164 東京都中野区本町三ノ二
電話(03)一八四七番

一水会本部参与
一水会新潟支部顧問
新潟県琵琶協会の顧問
畑 関水
951 新潟市古町通七番町
電話(025)二二八五番

一水会横浜支部
采崎 統水
220 横浜市西区戸部本町一五ノ
三 電話(045)三六六一番

高橋 蘇水
040 本部 函館市大手町一六ノ二
電話(013)四一五六番
自宅 函館市湯川町三ノ七ノ五
電話(013)二四五三番

宇川 久信
145 東京都大田区北千束三ノ六
ノ五 電話(047)二八八一番

池野谷 吟岫
111 東京都台東区元浅草四ノ三ノ
七 電話(03)四三三一四番

最上 十太郎
031 青森県八戸市内九ノ一
電話(017)八七七五番

錦心流一水会本部理事
桑水会
石井 桑水
238 横須賀市公郷町二ノ一
電話(046)二二六四番

一水会東支相談役
寺山 注水
242 大和市福田四九六四ノ三八
電話(046)七一八〇番

松本 諸水
120 東京都足立区青井三ノ二
電話(03)三八九二番

薩摩琵琶正絃会
八束 一峰
165 東京都中野区大和町三ノ七
電話(03)三三三三番

薩摩琵琶正絃会
岡尾 鶴城
420 静岡市田町一ノ三三

薩摩琵琶正絃会
梅沢 唎水
254 平塚市宝町十二ノ三三
電話(046)三〇一六番

錦心流琵琶
一水会名古屋支部
支部長 水谷 浩水
466 名古屋市昭和区荒田町五ノ
三 電話(052)八九一一番

顧問 奥村 慧水
456 名古屋市熱田区千代田町〇
ノ六 電話(052)三三〇六番

相談役 土川 吟水
420 静岡市緑町六ノ二五
電話(054)五八五八番

相談役 小林 残水
456 名古屋市熱田区五本松町三
ノ〇 電話(052)八五七三番

薩摩琵琶正絃会 会員
岡部 錦蝶
359 所沢市中新井二ノ六ノ四
電話(041)四三〇九二八番

石田 錦穂
941 新潟県糸魚川市上刈
電話(025)四七一九番

京絃社
植村 実水
565 大阪府吹田市山田東一丁目
千里台スカイハイビル六階
電話(06)〇三二六番

一水会中央支部
支部員一同
事務所 新宿区北新宿一ノ三ノ一
松田殊水方電話(03)八九八番

一水会神戸支部
支部員一同
事務所 西宮市羽衣町七ノ二九
三浦通水方電話(078)三三五六番

薩摩琵琶鶴声風
遊心会 若林 鶴山
250 小田原市浜町一ノ七ノ五
電話(046)二二九九番

薩摩琵琶鶴絃会
神戸 英次郎
250 小田原市南町二ノ一ノ二三
電話(046)三三三三番

薩摩琵琶鶴絃会
晃陽 小野 鶴彦
431 浜松市積志町一八三三
電話(053)〇八七一番

藤巻旭鴻名匠の
叙勲祝賀会の宴
東京大飯店で



(藤巻旭鴻師)

筑前琵琶日本旭会の最高幹部で
東都旭会長であり、日本琵琶楽協
会の副会長に五十六年一月の總會
で昇格就任された藤巻旭鴻師は、
去る十一月三日の文化の日に叙勲
の恩典に浴し勲五等双光旭日章を
受章の光栄を得たので、琵琶楽協
会主催となり十二月六日午後一時
より新宿花園町の東京大飯店に於
て藤巻師を招待し受章祝賀宴會を
催し、吉川会長を始め役員と会員
六十余名出席して祝賀を挙げ、記
念の御祝品を贈呈し祝辭を述べら
れたと。

山崎旭華師動靜

十一月二十三日東京の木原綾子
女史の琵琶祭りに出演された大阪
の山崎旭華女師は、二十五日札幌

の荒木旭麗さん方へ出教授に行
き、二十八日東京の辻端剛翁の葬
儀へ会葬のため上京して即日帰札
、十二月六日東京の藤巻氏叙勲祝
賀會へ出席して帰阪された。

雨宮国風名人が 新春の朗詠放送

一月三日朝七時
NHKラジオで



(雨宮国風師)

現代吟詠界の大御所と敬称され
る国風流宗家雨宮国風師は、錦心
流琵琶の大先輩で永田錦心宗家在
世中に同道して朝鮮京城へ渡り、
公演して出藍の好評を博して妙技
を讃えられた。戦後は渡米して日
米親善吟詠連盟を結成して国交の
回復促進に活躍し功績多大である
。毎年新春には吟詠を放送して清
新の気風を向上されるのが例であ
るが、五十七年度は一月三日朝七
時に、NHKラジオ第一より放送
される由である。

筑前琵琶橋会師範
田子 旭園
683 鳥取県米子市岩倉町六〇
電話(085)九〇五七番

橋流筑前琵琶師範
橋本 吟詠詩舞道連盟顧問
平田 旭峰
321 宇都宮市峰町九〇
電話(028)四五六二番

鹿兒島旭会
大師範 柿木 旭利
892 鹿兒島市新町四ノ二
電話(098)二七一七番

日本琵琶振興会
鈴木 流泉
343 越谷市大成町一ノ二三九
電話(049)二二二二番

奥田 医院
奥田 興
113 東京都文京区湯島三ノ八ノ二
電話(03)八三七七番

筑前琵琶旭会
旭邑 運吟
237 横須賀市追浜東町一ノ六ノ六
電話(046)三九八七番

筑前琵琶橋会師範
旭芳 会
山田 旭芳
153 東京都目黒区下目黒アナノ一
電話(03)四一九六番

筑前琵琶日本橋会
師範 友田 旭泉
496 愛知県海部郡佐織町持中佐渡
電話(052)〇三七八番

錦山 齋藤 桜嵐
804 北九州市戸畑区天神三ノ九ノ八
電話(093)四三三三番

山下 晴楓
165 東京都中野区大和町一ノ四
電話(03)八五五五番

薩摩琵琶晴風会
山下 晴楓
165 東京都中野区大和町一ノ四
電話(03)八五五五番

錦心流琵琶
一水会中央支部
支部員一同
事務所 新宿区北新宿一ノ三ノ一
松田殊水方電話(03)八九八番

一水会神戸支部
支部員一同
事務所 西宮市羽衣町七ノ二九
三浦通水方電話(078)三三五六番

薩摩琵琶鶴声風
遊心会 若林 鶴山
250 小田原市浜町一ノ七ノ五
電話(046)二二九九番

薩摩琵琶鶴絃会
神戸 英次郎
250 小田原市南町二ノ一ノ二三
電話(046)三三三三番

薩摩琵琶鶴絃会
晃陽 小野 鶴彦
431 浜松市積志町一八三三
電話(053)〇八七一番

筑前琵琶日本橋会理事
師範 伊佐地 旭勢
464 名古屋市千種区松竹町一ノ
七 電話(052)七四九八番

筑前琵琶日本橋会
法世院 土井 旭淨
451 名古屋市西区那古野二ノ一八
電話(052)四七三二番

横須賀
四絃富士会
事務所 横須賀市富士見町一ノ三
電話(046)二二二二番

廣江 義雄
951 新潟市学校町通一番町二
電話(025)四五一四番

薩摩琵琶
晴風会
164 東京都中野区中野一ノ三ノ六
電話(03)二三四九番

晴風会
164 東京都中野区中野一ノ三ノ六
電話(03)二三四九番

吟剣詩舞振興会 新春のつどい

一月九日午後
笹川記念会館で

我国思想界の権威者で世界的の偉人である笹川良一先生は、日本一の芸能団体の日本吟剣詩舞振興会々長として三百八十万人の会員を有し、創立十有余年、毎年、行事として春の名流大会、夏の吟道



(笹川良一氏)

大学、秋の全国大会の三大行事と各種コンクールを實行して社会福祉に大きく貢献され名声高い紳士である。毎年一月舉行される吟剣詩舞振興会新春のつどいは、五十七年度も恒例の通り一月九日午後二時三十分より港区三田三丁目目の笹川記念会館に於て開催、式典は笹川会長の御挨拶に對し、来賓の祝辭。吟剣詩舞会員の功勞者表彰。吟剣詩舞道芸術披露で終了。階上にて祝賀パーティーを開いて一同懇親を深め多幸と健康を祝し、振興会の御発展を祝福されると。

賜杯に輝く

押田家の新年



(押田旭翁師)

筑前琵琶社を東京界の名物に育成したのは主将押田旭翁名人の淑徳の善れと神技の賜物である。押田女師は、戦時中は芸能家統制に格段の尽力され、軍隊や軍需工場慰問に心勞されて功績多大で賞讃された。女史は明朗温容の賢婦人で博愛礼節の龜鑑と敬愛さ

中部橘会の岡崎 演奏を傾聴す

名古屋にある中部橘会の秋の演奏会が、十一月十五日岡崎市の東

本願寺教務所で催され参観して聴いたのでありのままの所感を述べる。
箕浦旭声(栗津ケ原)歌絃ともに秀技。土井旭海(小栗栖)力演で好感がもてる。(茶絃録)合奏の絃は師範級甲分なし、歌絃習の結果よく合った。加藤旭輝(北の庄)山崎師に指導を受けての出演感動を受けた。小川旭典(曲垣平九郎)近来にない出来で好感のもてる演奏、客席より声援あり優秀。亀井旭佳(那須与市)弾法、歌ともに素晴らしい。島田旭紅(舟弁慶)品のよい演奏で当日の秀技。田村旭都(福田川)堂々たる演奏。押田旭葉(安宅)義経、弁慶、富樫を歌いかけた堂々たる貫録で女流で一番。西村旭一声(大楠公)大師範の貫録充分、男性として当日最優秀。堀田旭甲(文覚発心)歌廻田、絃山崎旭幸で歌絃分離、力演で貫録充分。評者は前田旭城氏。

青柳、桑田師等と
東都旭会役員が
藤巻師叙勲祝賀
日本旭会最高位の総師範で東都旭会長藤巻旭鴻師は、十一月三日文化の日の叙勲で、勲五等双光旭

日章授章の恩典に浴し一世一代の光栄に輝いた。この慶びを敬祝すべく藤巻師後援会々長青柳重道氏、筑前琵琶製作名匠桑田旭氏並に清水氏の三者は、東都旭会の役員一同と語り旭鴻会長の叙勲祝賀会を十一月二十九日午前十一時より高田馬場のビッグボックス九階で開催し、藤巻師を囲んで心を込めた祝意を表し賑わった。

阿部秋子女史が 邦楽大会へ出演 妙技人気を凌ぐ

名古屋で錦流琵琶の名手と讃えられ人気高い阿部秋子女史が、十一月二十三日中電ホールにて催



(阿部秋子師)

された名古屋邦楽大会(第一部民謡)、(第二部小唄、長唄、端唄、琵琶)、NHKと市教育委員会後援の催しに第二部へ出演して愛好家の盛んな声援で人気を博し好評を受けられたと。

加藤錦陽師立川の 文化祭で好評博す

東京都立川市では十月二十五日公民館で文化祭を催し、琵琶と舞踊、邦楽を上演し来場者を楽しませた。琵琶出演の木原綾子、水藤



(加藤錦陽師)

五郎、加藤錦陽三師の内の加藤錦陽師演奏の「坂崎出羽守」が聴衆に深感を与え、五名の女客が楽屋を訪問し加藤師へ金巻封を贈呈されたと言ふ。

加藤錦陽師来訪

東京都三鷹市芸術文化協会相談役(前会長)加藤錦陽師は、十二月二日午後年末ご挨拶のため芸の友社鈴木社長宅を来訪快談された。

高田栄水師来訪

琵琶コンクールで優勝し文部大臣賞を受けた名流巨匠高田栄水師は、十二月四日鈴木社長宅を来訪、情勢を歓談された。

巨星墜つ

琵琶界の元老

辻靖剛翁逝去

御冥福を祈念す



(辻靖剛師)

山梨県東山梨郡の医師の家に生れた辻三吉氏は、青年時に上京して報道関係の事業に勤務し、薩摩琵琶を愛好して号を東舟と名乗り、後に「靖剛」と称し弾法の大

を担当し後副会長となり今日に至った。

この間東京に薩摩琵琶の道場を開いて同好者を指導し、本場鹿兒島を訪問して研究され、京都四明会と連携して演奏会を催し発展に尽された。その功績により数年前に叙勲の恩典に浴し勲四等瑞宝章を受章され芸術家として一代の榮譽を飾った。

辻翁は十一月二十五日いつもの如く出社すべく自宅を出てバス停で待合中に倒れ、居合せた人が救急車で国分寺病院へ入院させたが動脈リウ破裂で遂に午後三時四十分永眠されたとは痛惜の限りである。享年八十九歳。

葬儀は二十八日正午より西国分寺駅北口近くの禪寺東福寺本堂で執行。祭壇前には近親者、琵琶関係者、実業界方面よりの供花數十が並ぶ。任職と伴僧二人の読経に始まり、本堂内の遺族席には未亡

人と喪主邦生氏親近者。会葬席には葬儀委員長吉川英史氏以下参列者百数十名が並ぶ。奉経半で弔辭を吉川委員長、自動車工業組合常任理事、古曲研究所門下代表須田誠舟氏等三氏の故師の人格と業績を讃えた礼節の清潤下弔辭に参列者を泣かしめ、導師の引導ありて焼香に移り、委員長、喪主を先番に順焼香拜礼す。午後一時本堂の扉を開けば外部に待ち受けし一般参列者数百名近くが告別式になり四列に並んで焼香四十余分時に及ぶ。終つて遺骸は霊柩車に移り、委員長吉川氏と喪主邦生氏より一般会葬者へ御礼の御挨拶あつて一同車を連ね多摩霊園火葬場へ。茲で待休一時間で骨上げして再び東福寺へ。初七日のお経を捧げ、供養の忌除を受け八時頃に散解したが頗る盛葬で故人の遺徳が偲ばれた。法名は「徹心院絃道靖壽居士」御冥福を祈る。

四の絃

昭和の聖代も五十七年の新年を迎え新羅万象改まり一陽來福の春とお慶び申し上げます▲五十六年の東京琵琶界には賜杯受章の押田旭翁女史と勲五等双光旭日章受章の藤巻旭鴻師の二人の

光栄者が生れた▲押田、藤巻両家の迎春には一段と深い感激があらりと察しられます▲特に藤巻家で旭鴻師が一月の日本琵琶協会で理事長より副会長に昇進され、四月の入院手術も全快し旭星夫人の九月の胆石手術も平癒された▲司会した旭会全国大会も超満員の成果を収め終るなど二重四重のお慶びであつた▲幸運の星の下に生れた藤巻師は何事もトントン拍子に展開し明るく楽しい世となるが不運の星の下に生れると逆目になるから恐ろしい▲順調の幸運者として見られた作家の曾我童城師が五十五年十一月東京愛宕山の上根で演奏中に舞台で卒倒しそのまま他界▲静岡の山本鶴声名人と神戸の松岡旭岡名人も不帰の客となられた▲去る十一月には日本琵琶協協会創立の発頭人である斯界の元老徳人と敬服させられた。

時 一月二十三日 十二時より
所 銀座ガスホール

新春 名流琵琶演奏会

主催 日本琵琶楽協会